

お彼岸づとめ

お彼岸勤めを、九月二十二日から二十四日の三日間で予定しています。ご希望の方は電話にてお申込ください。お盆にお参りが出来なかった皆様にもご案内をいたします。



星まつりのご案内

毎年恒例の節分の星まつりですが、来年は二月三日（土曜日）となります。おふだの申し込みは次号（一月中旬配送予定）で御案内いたします。

真言宗の基礎知識（その三十二）

（弘法大師）

お大師様が高野山を天皇より賜った二年後に全国的に疫病が流行をしました。嵯峨天皇はこの疫病の流行を防ぐために写経をお書きになりました。

お大師様はその時の様子を般若心経秘鍵（はんにやしんぎょうひけん）という文章にお書きになっています。

「時に弘仁九年の春、天下大疫す。ここに帝王（嵯峨天皇の事）般若心経を書写し奉る。予購読の選に範（のつと）り経旨の宗を綴る。」とあり、天皇陛下がお写経をされ、お大師様のご進講された場所が今の大覚寺で、今も嵯峨天皇の真筆が勅封心経として同寺に奉安されています。

お大師様は疫病を鎮めるために修法をされ、嵯峨天皇に写経をお勧めになりました。今も昔も般若心経は多くの人に読まれ、写経をされていますが、この始まりはこのような出来事がありました。

来年に向けて・・・

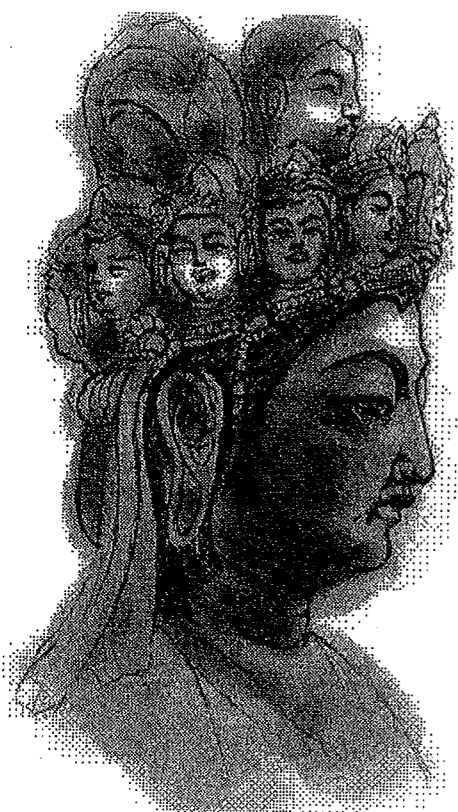
例年は十月中下旬に作る寺報（上之坊だより）ですが、今回は明王院の結縁灌頂の参加者募集のため、一ヶ月以上早めに作成をいたしました。

まだ土砂加持のご案内には早いかもかもしれませんが、十一月四日を予定しております。

なお、来年は、春または秋から始めて、二年計画で四国八十八ヶ所のお遍路巡拝も計画をしております。一回に約二十ヶ寺を二泊三日の行程で四回で周り、二年で一週を予定しています。来年の春または秋に一番から二十三番までの予定です。

上之坊だより

平成29年9月7日
第77号
福山市大門町大門325
電話(084)941-1031



こうぼうだいしせいごしょう
弘法大師聖語抄

くちしんじゅとな こころけんたい
口に信修を唱うとも心嫌怠すれば

あたまあ お
頭有って 尾わり無し

「口で良いことばをいくら言ったとしても、行動が伴わなければ、最初は良くても、最後には良い結果には結びつかない」とお大師様は説かれています。

真言宗とは真（まこと）の言葉の教え、宗教の意味であり、心や行動と違う言葉であれば真言宗とはいえません。

今の自分の人生で、成功を修め、良い結果を得ようとすれば、言葉と行動が合致しなければなりません。

お大師様は山河を駆け、全身全霊を込めて修行を続けられました。そしてお大師様のお心とお言葉は現代にも深く生き続けているのです。

結縁灌頂（けちえんかんじょう）のご案内

真言宗には結縁灌頂

（けちえんかんじょう）

という儀式があります。

仏様とのご縁を結ぶ大事

な機会ですが、今から千

二百年前、弘法大師が中

国の長安で師僧であった

恵果和尚から受けた作法

を少しだけ簡略化した儀

式です。

本来、真言宗の僧侶に

なるには、伝法（でんぽ

う）灌頂を受けないとい

けません、そのために

は一年近くの修行が必要

になってしまいます。

しかし、それではこの

素晴らしい灌頂を一般の人

は経験することが出来な

いので、その大事な部分

を体験してもらうために

この結縁灌頂が行われて

おります。

この灌頂は、真言宗の

ご本尊である曼荼羅（マ

ンダラ）を横に敷き、そ

の上にシキビの華を投じ

て本尊様とのご縁を結び

ます。

備後地方ではちようど

二十年前、草戸明王院で

実施され、多くの人が入

壇され仏様とのご縁を結

ばれました。

開催期日は十月七日午

後から九日午前の三日間

ですが、午前か午後をご

指定いただきます。料金

は八千円で記念品がつき

ます。

お申込は九月十五日ま

でを第一次の締め切りと

いたします。上之坊から

は約二十名を予定してお

りますが、時間帯によつ

ては定員に達する場合も

ありますので、ご希望の

方はまず上之坊に電話に

てお問い合わせをしてく

ださい。

平成三十年年忌表

- 一 周忌 平成二九年
- 三 回忌 平成二八年
- 七 回忌 平成二四年
- 十三回忌 平成十八年
- 十七回忌 平成十四年
- 二五回忌 平成六年
- 三三回忌 昭和六一年
- 五十回忌 昭和四四年
- 百 回忌 大正 八年

来年の該当のお名前は本堂正面に土砂加持より一年掲示いたします。

どしやかじ 土砂加持法要のご案内

秋も少しずつ近づいてまいりました。十一月四日午後一時半より、近隣の住侶のご助法を仰ぎ、恒例の土砂加持法要を開筵いたします。

四日当日は午後一時半より御詠歌と法話、二時より「とうば供養」と引き続き四時前まで土砂加持法要のお勤めを予定しております。

なお、法要で「板とうば」を造りお墓に建てたい方はお申し込みください。供養料を含めて三千円となります。

また、お墓に塔婆を建てにくい方は紙の塔婆をつくり供養を行います。供養料は千五百円となります。

加持したお土砂をご希望の方は法要終了後にお分け致しますのでお残り願います。板とうば申込みの方には無料でお分け致します。またお土砂のみご希望の方には三百円のお賽銭をご用意下さい。

板とうばや供養のお申込みは別紙にてお申込み下さい。当日参加できない場合は後日の受け取りでも結構です。

なお、明年の年忌名簿については、本堂正面に土砂加持の日より掲示いたします。

どうぞ、先祖供養をご希望の方はお参りいただきますようにご案内申し上げます。

ユギ塔改修計画のその後

七月開始の予定であったユギ塔の再建計画ですが、業者の選定が遅れておりました。しかし、九月七日より土台の造成を開始いたしました。十一月ころより組立てを始めようと考えています。

総代会のご案内

十一月四日の土砂加持法要のち、午後四時より定時の上之坊総代会を開催いたします。

総代の皆様にはお集まり願います。

また、来年一月中旬には総代・世話方の合同会議を予定しております。

世話方の皆様には総代様よりご連絡が届くと存じますので、ご参加よろしくお願いたします。